

スマホの利用料って、
これまでのケータイより
高いの？

通信料が予想外の金額になる可能性もあります。



※ スマホは従来のケータイと違い、電源を入れていけば、操作しなくても自動で通信を行うことがあります。そのため、自分で思っているよりもはるかに高いパケット通信料になってしまうこともあるので、定額プランを利用することをお勧めします。

アプリ利用料は通信料と
別にかかります。

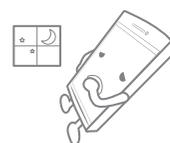


🛒 有料アプリの購入代金は多くの場合、携帯電話会社による料金通知・制限サービスの対象から外れています。
また、1つ1つは小額でも知らず知らずのうちに利用料金が高額になってしまう可能性も否認しません。
アプリ購入については、子どもにもきちんとコントロールさせながら、保護者がしっかり管理するようにしましょう。

子どものスマホ利用には、
「利用時期の見極め」「適切な安全対策」
「保護者の見守り」が大切です。

利用時期の見極め

スマホはアプリで多様な使い方ができることから、ネット全般を使いこなす力（ルールやマナーを守る社会性、責任感、自制心など）が必要です。また、便利で定額だからと使い過ぎて生活を乱したり健康を害することのないよう、節度ある利用ができるかがポイントです。それらが難しいなら、子ども向けケータイや、フィルタリングおよび機能制限の活用等で、子どもの年齢や成長度合いに合ったものを与えると安全です。



適切な安全対策

スマホは、契約する携帯電話会社や機種によって安全対策が異なります。購入・契約の際は必ず、販売店に18歳未満が利用することを伝え、発達段階に合ったフィルタリングや機能制限、安全対策アプリなどの説明を聞いて、適切なスマホの利用環境を整えてあげましょう。



保護者の見守り

スマホのアプリ利用は利用者情報の送信を伴うことも多く、利用規約をよく読んで確認し納得して利用する必要があります。利用しているアプリについて会話をしたり、アプリのダウンロードや新規購入に一定のルールを設けたり、判断が必要なメッセージが画面に出たら保護者に聞くなど、日頃から相談出来る親子関係とコミュニケーションが大切です。

もっとグッドネット宣言

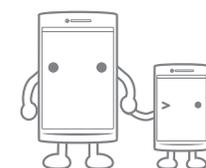


- ネットでも思いやりを持って！
- 社会のルールとマナーを守って！
- 賢く使って、よりよいコミュニケーションを！

「もっとグッドネット」とは、一人ひとりがICTの利用環境について考え、よりよいネット社会を作っていきたいという思いを表現した合い言葉。この言葉は、安心ネットづくり促進協議会が行う普及啓発活動の総称です。

保護者のための

スマートフォン 気になる 安心安全 ガイド



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

安心ネットづくり促進協議会
<http://good-net.jp>

これまでのケータイと スマホの違い

こんなに違うスマホの機能



ツール

従来のケータイは、電話の機能をベースにして、メールなどの機能を加えたものです。スマホは、パソコンの機能をベースにして、電話機能を加えたものです。「使いたい機能」は後からアプリをインストールすることで追加できます。

インターネット

従来のケータイは、携帯電話会社の電波（3G 回線）を使ってインターネットに接続します。スマホは上記 3G 回線に加え、より高速な通信である無線 LAN (Wi-Fi) でも接続できます。

スマホには、
さまざまな企業が
関わっています。

従来のケータイを使ったサービスは、携帯電話会社や端末メーカーによって提供されています。スマホを使ったサービスは、それらの企業に加え、アプリケーション提供者やアプリマーケット運営者、広告配信事業者など、多様な関係者によって成り立っています。そのため、従来のフィルタリングでは対応できない場合があります。

スマホのフィルタリングは何が違う？

従来のフィルタリングでは対応できない場合があります。

携帯電話会社の電波（3G 回線）を利用した接続であれば、携帯電話会社のネットワークを経由する際にフィルタリングサービスを適用して、青少年に不適切なサイトへのアクセスを自動的に制限することができます。しかし、無線 LAN (Wi-Fi) を利用して接続したり、アプリを利用する場合は、携帯電話会社のネットワーク側のフィルタリングサービスが適用されません。

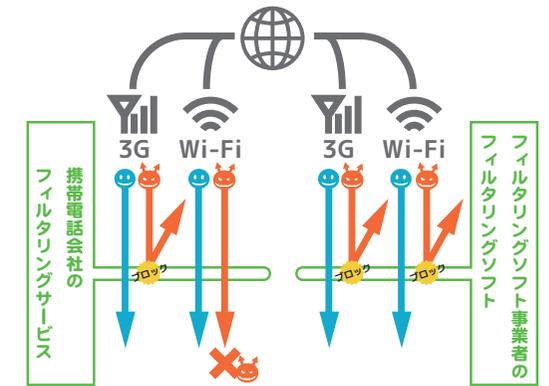
スマホは、アプリが追加できてすごく便利。 でも、「気をつけなきゃいけないことがある?!」って、どういうこと？

アプリには
いろんな種類があります。

- 利用できるアプリが、すべて安全なアプリとは限りません。また、青少年にとっては利用が不適切なアプリも存在しています。
- 端末等についているペアレンタルコントロール機能や、携帯電話会社の「機能制限アプリ」で、さまざまな利用制限（インストール制限、起動制限等）ができますので、子どもの成長段階に応じた利用環境を作るようにしましょう。

アプリは利用者情報を使うこともあります。

アプリの中には、スマホに蓄積された利用者情報を外部に自動的に送るものがあります。利用されるのはどの情報なのか、どんな目的で利用されるのか、また、どのようなルールのもとで活用されるのか、よく確認しながら使しましょう。



場合があります。この場合は、フィルタリングソフト事業者が提供しているフィルタリングソフトを利用することが効果的です。また、携帯電話会社の「機能制限アプリ」や端末の機能で無線 LAN (Wi-Fi) 接続を OFF にすることもできるので、適切な設定を心がけましょう。

スマホにはセキュリティ対策が必要です。

- ウイルス対策ソフト**
アプリの中にはウイルスが混入しているものもあり、個人情報盗み出されたり、データを破損させたりします。携帯電話会社などから、機種に応じたウイルス対策ソフトが提供されていますので、アプリを使うなら必ず導入し、更新も忘れずに行いましょう。
- OSの更新**
基本ソフト (OS) の更新をすることで、ウイルス感染の危険性を低くすることができます。更新通知が来たら、すぐに対応しましょう。
- 信頼性の確認**
OS 事業者や携帯電話会社が、安全性の審査を行うサイト (マーケット) を利用したり、アプリのインストールの際に利用条件や信頼性を確認するなどして、信頼できるものだけを使いましょう。
- セキュリティロック**
盗難や紛失の際、スマホの中の情報やデータを守るためにパスワードなどによるセキュリティロックをかけておきましょう。